



各 位

平成 25 年 4 月 26 日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所  
 代表者 代表取締役社長 川崎 博也  
 (コード番号 5406)  
 問合せ先 秘書広報部長 安田 幸展  
 (TEL 03-5739-6010)

### 業績予想に関するお知らせ

平成 26 年 3 月期(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)の連結及び個別業績予想について、お知らせいたします。

#### 記

平成 26 年 3 月期(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)の連結及び個別業績につきまして、今般その見通しを得ましたのでお知らせいたします。

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業損益	経常損益	四半期純損益	1 株当たり 四半期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前年第 2 四半期連結累計期間実績(A)	858,552	5,554	△11,009	△38,199	△12.72
今回発表予想(B)	870,000	30,000	15,000	10,000	3.33
増減額(B-A)	11,447	24,445	26,009	48,199	
増減率(%)	1.3	440.1	—	—	

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益	1 株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前連結会計年度実績(A)	1,685,529	11,234	△18,146	△26,976	△8.98
今回発表予想(B)	1,790,000	75,000	45,000	35,000	11.66
増減額(B-A)	104,470	63,765	63,146	61,976	
増減率(%)	6.2	567.6	—	—	

平成 26 年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値(平成 25 年4月1日～平成 25 年9月 30 日)

	売上高	経常損益	四半期純損益	1株当たり 四半期純損益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前年第2四半期累計期間実績(A)	478,314	△26,253	△39,528	△13.15
今回発表予想(B)	460,000	10,000	15,000	4.99
増減額(B-A)	△18,314	36,253	54,528	
増減率(%)	△3.8	—	—	

平成 26 年3月期通期個別業績予想数値(平成 25 年4月1日～平成 26 年3月 31 日)

	売上高	経常損益	当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前事業年度実績(A)	933,879	△21,992	△6,882	△2.28
今回発表予想(B)	970,000	25,000	35,000	11.64
増減額(B-A)	36,120	46,992	41,882	
増減率(%)	3.9	—	—	

業績予想の概要

当期の世界経済は、国内外において緩やかながら回復基調が継続すると想定されるものの、欧州における金融不安など、先行きへの不透明感は拭えません。当社グループを取り巻く外部環境は、足下は円高の是正など、一部で好転の兆しはあるものの、急激な改善は見込めないものと予想されます。

このような中、鋼材やアルミ・銅圧延品の販売数量については、需要の急速な回復は見込み難いものの、一定の増加を織込み、また、鉄鋼主原料価格、鋼材販売価格など未確定な要素についても一定の想定をした結果、当期の連結業績については、売上高は1兆 7,900 億円程度と見通しております。また、総コストの削減に最大限注力することに加え、在庫評価影響の好転や当期より固定資産の減価償却方法を変更する影響もあり、営業利益は 750 億円程度、経常利益は 450 億円程度、当期純利益は 350 億円程度と見通しております。

また、個別業績については、売上高は 9,700 億円程度、経常利益は 250 億円程度、当期純利益は 350 億円程度と見通しております。

詳細につきましては、本日発表の「平成 25 年度3月期 決算短信」【添付資料】1. 経営成績・財政状態に関する分析(1)経営成績に関する分析を併せてご参照下さい。

以上

(注)上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。